

1

お客さまに安全・安心と快適を

鉄道事業法に基づき、安全管理体制を確立し、輸送の安全についての水準の維持および向上を図ることを目的として、安全管理規程を制定しています。同規程では、「安全方針」・「安全行動規範」をはじめ、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全を推進し管理する社内の体制や各部門の責任者の役割、権限などを定めています。

【鉄道事業設備投資計画 2015】

▶ 設備投資総額

328 億円

▶ うち安全投資額

244 億円 (74%)

安全方針

当社は、「社是・信条」を基に、次に掲げる方針に従い、お客さまへの「安全・安心」を確実なものとする。

- 1 「安全は東武グループすべての事業の根幹である」との信念のもと「安全を最優先」し、「信頼される東武鉄道」を目指す。
- 2 「東武グループコンプライアンス基本方針」の精神に基づき、関係法令および規程等を遵守する。
- 3 「安全対策に終わりはない」ことを常に念頭に置き、安全推進体制の継続的な見直しを進める。
- 4 役職員一人ひとりが気付きの感度を高め、自ら考え、自ら行動することにより安全文化を創造していく。

安全目標

<2014年度安全目標>

「重大事故・重大インシデントゼロ」の継続

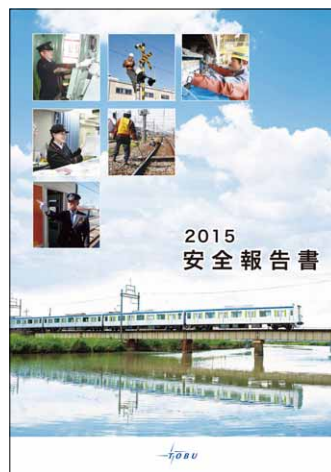
<2014年度結果>

「重大事故・重大インシデント」の発生はありませんでした。

※当社における、「重大事故・重大インシデント」とは、運輸安全委員会の調査対象となる、(1)列車衝突事故(2)列車脱線事故(3)列車火災事故(4)踏切障害・道路障害・鉄道人身障害・鉄道物損の各事故のうち乗客、乗務員等の死亡があったもの、5人以上の死傷で死亡者を生じたもの、鉄道係員の取扱い誤り又は車両若しくは鉄道施設の故障、損傷、破壊等に原因があるおそれがあると認められるものであって、死亡者を生じたもの、特に異例のもの(5)重大インシデント(事故が発生するおそれがあると認められる事態)をいいます。

安全行動規範

- 1 役職員全員は、一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- 2 輸送の安全に関する法令および関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実かつ正確に職務を遂行します。
- 3 常に輸送の安全に関する状況について、把握するよう努めます。
- 4 憶測に頼らず必要な確認の実行に努め、判断に迷った時は、最も安全と思われる取扱いをします。
- 5 事故・災害等が発生した場合、組織や職責に拘ることなく、その状況を冷静に判断し、人命救助を優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 6 輸送の安全に関する情報は漏れなく迅速、正確に伝え、情報の共有化に努めます。
- 7 常に輸送の安全に関し、問題意識を持ち、必要な対策を実施するよう努めます。
- 8 輸送の安全に関する知識・技能の習得・習熟に努めます。



当社の安全に関する取り組みの詳細については、「2015 安全報告書」をご覧ください。
当社ホームページ (<http://www.tobu.co.jp/>) からご覧いただけます。

1 お客さまに安全・安心と快適を

[主な設備投資]

可動式ホーム柵 (ホームドア) の導入・推進

船橋	2014年3月使用開始
柏	2015年3月使用開始
和光市	2015年度使用開始予定 (2014年度調査設計実施)

駅ホームの転落防止対策として、国土交通省から示された「ホームドアの整備促進等に関する検討会」の整備方針に基づき、1日の利用者数10万人以上の駅である東武アーバンパークライン柏駅に可動式ホーム柵を設置(2015年3月使用開始)しました。



運行管理システムの導入

東上線・越生線	2001年4月使用開始
東武アーバンパークライン	2009年11月使用開始
東武スカイツリーライン 伊勢崎線(館林以南) 日光線(新栃木以南)	2015年3月使用開始

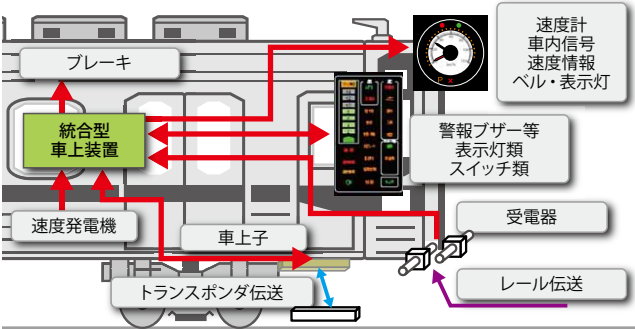
運行管理システムは、東上線・越生線および東武アーバンパークラインに導入していましたが、2014年度は東武スカイツリーライン・伊勢崎線(館林以南)・日光線(新栃木以南)に導入しました。信号制御の集中化と列車位置情報の集約で、更なる安定輸送の確保と、お客さまにより詳細な運行情報を提供することが可能となりました。



東上線新運転保安システムの導入

川越市～小川町	2015年1月使用開始
和光市～川越市	2015年6月使用開始
池袋～和光市	2015年9月使用開始

東上線では、従前のATS(自動列車停止装置)に代え、より高性能なATC(自動列車制御装置：前方を走行中の列車の位置から列車速度を制御する装置)を導入しました。2014年度には、川越市～小川町間にて、2015年度には、池袋～川越市間にて使用開始しました。



連続立体交差事業の推進

竹ノ塚駅付近	高架化工事施行中
清水公園～梅郷	高架化工事施行中

東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近および東武アーバンパークライン清水公園～梅郷間では、足立区および千葉県の都市計画事業として、連続立体交差化工事を施行しています。完成時には竹ノ塚駅、愛宕駅と野田市駅が高架駅となり、竹ノ塚駅付近では2か所、清水公園～梅郷間では11か所の踏切が廃止されます。



1 お客さまに安全・安心と快適を

バリアフリーの推進

本格的な超高齢社会の到来や障がい者の社会参加の要請が高まる中、すべてのお客さまが、より快適により円滑に鉄道をご利用できるよう、駅施設や車両のバリアフリー化を積極的に進めています。

2014年度には、新古河・下今市・上板橋(2ルート目)・岩槻・葛生駅のバリアフリー化および車いすスペース、LCD(液晶ディスプレイ)車内案内表示器等を搭載した新型車両(60000系)を8編成48両導入しました。

● 駅施設のバリアフリー化

エレベーター等による段差の解消

当社では、「バリアフリー法」の基本方針の整備目標に沿って、エレベーター等による段差の解消を進めています。

2011年3月に改正された基本方針の整備対象駅(1日あたりの利用者数3,000人以上)に対する段差の解消の整備率は、2015年3月末時点で93%となっています。



下今市駅エレベーター

多機能トイレの設置

エレベーター等による段差の解消と同様に、「バリアフリー法」の基本方針の整備目標に沿って、多機能トイレの設置を進めています。

整備対象駅に対する整備率は、2015年3月末時点で92%となっています。



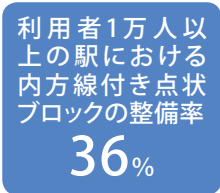
鉢形駅多機能トイレ



新古河駅多機能トイレ

点状ブロックの整備

利用者10万人以上の駅については、P10の可動式ホーム柵または内方線付き・JIS規格対応の点状ブロックの整備を進め、利用者1万人以上の駅については、内方線付き点状ブロックの整備を進めています。



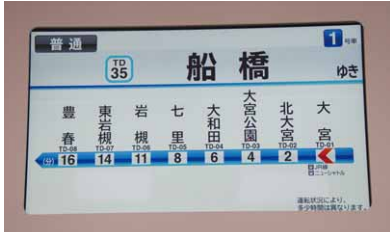
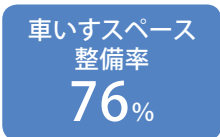
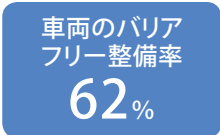
● 車両のバリアフリー化

車いすスペース・車内案内表示器の設置

当社では、「バリアフリー法」の基本方針の整備目標に沿って、車いすスペース、車内案内表示器の設置を進めています。

両項目を満たすバリアフリー整備率は、2015年3月末時点で約62%となっています。

なお、車いすスペース・車内案内表示器の項目別整備率は、それぞれ76%・65%となっています。



1 お客さまに安全・安心と快適を

分かりやすい案内表示への更新

重要なお案内には配色を工夫して見やすくしたほか、ピクトグラム（誰もが一見してその表現内容を理解できる図形・絵文字の総称）を用いる等、ユニバーサルデザイン（障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方）への変更を推進して、お子さまからお年寄りの方まで容易にご理解いただけるようにするとともに、外国人のお客さまのために4か国語の表記を進めています。

また、様々な案内表示器を設置して、お客さまの利便性向上とサービスの充実をめざしています。

●ユニバーサルデザイン

高齢者やお子さまへの配慮

駅構内誘導をスムーズにするため、案内表示をより見やすく、重要なお案内には色を使うなど配色に工夫をこらし、遠くからも目立つように文字を大きくしたほか、より分かりやすくするためにピクトグラムを用いる等、高齢者やお子さまにも配慮したユニバーサルデザインへの変更を進めています。



◀◀4か国語表示例

外国人のお客さまへの配慮

外国人のお客さまにも安心してご利用いただけるよう4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）の表記を進めています。

また、東武グループでは、2015年5月から、日本を訪れる外国人のお客さまに東武鉄道沿線の観光を快適にお楽しみいただけるよう、主要駅およびグループ施設等において無料公衆無線LANサービス「TOBU FREE Wi-Fi」を順次導入しています。

●トップページの対応言語：英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・タイ語

●サービス提供エリア（2015年7月現在）

- 東武線（20駅）：ホームおよび改札付近
浅草駅 とうきょうスカイツリー駅 北千住駅
新越谷駅 北越谷駅 春日部駅 久喜駅 東武日光駅
鬼怒川温泉駅 大宮駅 流山おおたかの森駅 柏駅
新鎌ヶ谷駅 船橋駅 池袋駅 和光市駅 朝霞駅
朝霞台駅 川越駅 川越市駅

- 東京スカイツリータウン®
- 東武外国人旅行センター（浅草駅構内）
- 浅草駅ビル「EKIMISE（エキミセ）」
- 東武ワールドスクウェア（栃木県日光市）



駅ナンバリング

東武全線を5つのエリアにわけ、エリアごとに体系化されたナンバリングと色づかいを用い、わかりやすくご利用いただけるように駅ナンバリングを導入しています。

- TS 00 …… 東武スカイツリーライン、浅草・押上～東武動物公園間、亀戸線、大師線
- TI 00 …… 伊勢崎線 和戸～伊勢崎間、佐野線、小泉線、桐生線
- TN 00 …… 日光線、宇都宮線、鬼怒川線
- TD 00 …… 東武アーバンパークライン
- TE 00 …… 東上線、越生線



●適切な情報提供

列車発車案内表示器・特急列車発売状況標

ホームやコンコースにおいて、お客さまに列車の行先・発車時刻の案内等を自動的に表示します。2014年度には豊春駅に新設し、計104駅でお客さまに



特急列車発売状況標



LCD（液晶ディスプレイ）列車発車案内表示器

ご案内を実施しています。

また、特急列車の空席状況等をお客さまにご案内する特急列車発売状況標を5駅に設置しています。

運行情報案内表示器

輸送障害時の運行情報をお客さまにご案内する運行情報案内表示器を2006年度から設置しており、運行状況のお知らせをリアルタイムでご提供しています。

また、路線図方式でお知らせするLCD型の運行情報案内ディスプレイを10駅に設置しています。



運行情報案内ディスプレイ（浅草）